

第80期（平成14年4月～平成15年3月）
決算説明補足資料



平成15年5月
証券コード：2264

(1) 連結決算に関する補足情報

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期		前期		増減額	増減率 %	説明
	平成15年3月期	構成比 %	平成14年3月期	構成比 %			
売上高	558,302	100.0	527,856	100.0	30,446	5.8	
売上原価	379,202	67.9	355,643	67.4	23,558	6.6	
売上総利益	179,100	32.1	172,212	32.6	6,887	4.0	
販売費及び一般管理費	165,303	29.6	161,508	30.6	3,794	2.3	
営業利益	13,796	2.5	10,703	2.0	3,093	28.9	
営業外収益	3,246	0.6	3,159	0.6	86	2.7	
営業外費用	2,317	0.4	2,536	0.5	219	8.6	
経常利益	14,725	2.6	11,326	2.1	3,398	30.0	
特別利益	862	0.2	4,463	0.8	3,601	80.7	
特別損失	5,464	1.0	5,813	1.1	348	6.0	
税金等調整前当期純利益	10,123	1.8	9,977	1.9	146	1.5	
法人税等	6,550	1.2	4,127	0.8	2,422	58.7	
法人税等調整額	1,260	0.2	1,306	0.2	2,566	-	
少数株主利益	14	0.0	14	0.0	29	-	
当期純利益	4,818	0.9	4,557	0.9	261	5.7	

売上高の状況

(単位：百万円)

連結事業セグメント	当期		前期		増減額	増減率 %
	平成15年3月期	構成比 %	平成14年3月期	構成比 %		
1) 食品事業	533,644	95.6	498,600	94.5	35,043	7.0
2) その他事業	30,724	5.5	36,102	6.8	5,378	14.9
消去及び全社	6,066	1.1	6,847	1.3	780	-
合計	558,302	100.0	527,856	100.0	30,446	5.8

「その他事業」には医薬品、飼料、プラント設備の設計施工、不動産の賃貸、運輸、倉庫業等が含まれる。

食品事業

健康志向を背景には、酵乳が大幅に増加したことなどにより増収。

その他事業

(株)トーワテクノ、森永エンジニアリング(株)のプラント設備の設計施工会社の減収が影響。

売上総利益

健康志向を背景には、酵乳の市場が拡大し、また、成分無調整牛乳などを中心に売上増大。売上原価では、プロダクトミックスの変化や品質管理投資なども一部影響し、原価率が悪化したものの、売上数量の増加が大きく寄与し増益。

販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円)

	当期 平成15年3月期	構成比 %	前期 平成14年3月期	構成比 %	増減額	増減率 %
主要な項目						
(販売費)						
拡売費	69,500	42.0	68,886	42.7	613	0.9
運送費・保管料	35,185	21.3	32,141	19.9	3,043	9.5
従業員給料・賞与	17,958	10.9	18,311	11.3	353	1.9
(一般管理費)						
従業員給料・賞与	8,017	4.8	7,809	4.8	208	2.7
地代・家賃・保険料	2,638	1.6	2,690	1.7	52	1.9
その他	32,003	19.4	31,668	19.6	334	1.1
合計	165,303	100.0	161,508	100.0	3,794	2.3

主な増減要因

売上好調な子会社の費用が増大しており、新規連結子会社分の増分もあり。

営業外収益および営業外費用の状況

(単位：百万円)

	当期 平成15年3月期	前期 平成14年3月期	増減額	増減率 %
営業外収益				
受取利息	106	124	17	14.0
受取配当金	1,736	1,711	25	1.5
持分法投資利益	248	-	248	-
雑収益	1,154	1,324	169	12.8
合計	3,246	3,159	86	2.7
営業外費用				
支払利息	1,633	1,813	180	9.9
持分法投資損失	-	146	146	100.0
投資有価証券評価損	183	352	168	47.9
雑損失	500	224	276	123.0
合計	2,317	2,536	219	8.6

主な増減要因

- ・金融収支では、市場環境要因もあり支払利息がより下がった。
- ・持分法投資損益
一部の持分法適用会社の経営成績不振が改善した。

特別損益項目の内訳

(単位：百万円)

	当期 平成15年3月期	前期 平成14年3月期
特別利益		
固定資産売却益	155	1,466
退職給付会計基準変更時差異	118	-
厚生年金基金解散処理差額金	186	2,368
その他の特別利益	401	628
合計	862	4,463
特別損失		
固定資産処分損	1,304	1,112
(財)ひかり協会負担金	1,520	1,497
投資有価証券等減損処理額	1,875	973
関係会社整理損	5	598
退職給付会計基準変更時差異 費用処理額	-	1,330
その他の特別損失	758	300
合計	5,464	5,813

- ・その他の特別損失
一部子会社の加入していた全日本乳業厚生年金基金からの脱退による損失。

そのほか主要項目については、単体の特別損益項目の内訳ご参照（8ページ）

設備投資額及び減価償却費

	当期 平成15年3月期	前期 平成14年3月期
設備投資額	20,511	20,871
減価償却費	16,332	16,135

当期の主な設備投資

単体

- ・ 主力工場を中心とするヨーグルト、デザート、生クリーム、市乳等の製造設備、ユーティリティー設備等
- ・ 冷蔵庫管理温度適正化設備等
- ・ 各支店でのショーケース等の販促機器等

連結子会社

主に市乳製造設備等の増強

要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 平成15年 3月期	前期 平成14年 3月期	増減額	説 明		当期 平成15年 3月期	当期 平成14年 3月期	増減額	説 明
流動資産	105,359	114,240	8,880		流動負債	126,760	138,426	11,665	
現預金	6,736	14,164	7,427		仕入債務	62,749	58,846	3,903	
売上債権	61,893	61,591	302		短期借入金	19,143	32,712	13,569	
有価証券	31	1,028	997		社債	-	9,999	9,999	
棚卸資産	28,795	29,877	1,082		その他	44,867	36,868	7,999	
その他	7,902	7,578	323						
固定資産	202,648	195,513	7,134		固定負債	96,234	89,059	7,174	
有形固定資産	156,601	150,029	6,571		社債	50,000	40,000	10,000	
無形固定資産	973	766	206		長期借入金	20,989	22,758	1,769	
投資その他	45,073	44,717	356		その他	25,245	26,300	1,055	
					負債計	222,995	227,486	4,491	
					少数株主持分	2,596	2,640	44	
					資本計	82,416	79,627	2,789	
資産計	308,008	309,754	1,746		負債・資本計	308,008	309,754	1,746	

主要項目の内容および増減要因

	増減額	主な要因
売上債権	302	売上増による。
有価証券	997	一部子会社が保有する公社債等の有価証券を売却。
棚卸資産	1,082	プラント設計施工での大型物件完工で仕掛工事が減少等。
有形固定資産	6,571	今期新規連結子会社1社の増加（35億円） 設備投資額 204億円、減価償却費 162億円などによる。
投資その他	356	投資有価証券減損により 18億円減、匿名組合出資(12億円)増 貸倒引当金()減少 (増加要因)
借入金・社債	15,337	借入金返済により大幅に圧縮

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 平成15年3月期	前期 平成14年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー：	37,181	8,468	28,713
税金等調整前当期純利益	10,123	9,977	146
減価償却費	16,332	16,135	196
売上債権の増減額	50	955	904
棚卸資産の増減額	1,089	979	2,069
仕入債務の増減額	6,403	4,317	10,720
その他	3,181	13,303	16,485
投資活動によるキャッシュ・フロー：	25,370	19,223	6,147
有形固定資産購入額	21,973	20,358	1,615
有形固定資産売却額	227	1,555	1,328
投資有価証券の取得	1,191	140	1,051
その他	2,433	280	2,152
財務活動によるキャッシュ・フロー：	20,217	5,959	26,176
長期債務の増減額（：減少）	4,635	259	4,895
短期債務の増減額（：減少）	13,731	7,247	20,978
配当金の支払額	1,523	1,523	0
その他	326	24	302
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	21	31
現金及び現金同等物の減少額	8,416	4,775	3,641
現金及び現金同等物の期首残高	14,124	18,697	4,573
連結子会社増加に伴う期首残高増加額	560	201	358
現金及び現金同等物の期末残高	6,267	14,124	7,856
有利子負債残高	90,132	105,470	15,337
フリー・キャッシュ・フロー：	11,810	10,755	22,566

当期は業績好調により営業キャッシュフローが改善した。
これを受け、近年取り組んできたグループ内金融も活用していくとともに、
今期は、借入金の返済を積極的に実施し、財務体質改善を図った。

(2) 決算に関する補足情報(単体)

要約損益計算書

(単位:百万円)

	当期	構成比	前期	構成比	増減額	増減率	説明
	平成15年3月期	%	平成14年3月期	%			
売上高	462,375	100.0	436,498	100.0	25,876	5.9	
売上原価	330,952	71.6	309,751	71.0	21,201	6.8	
売上総利益	131,423	28.4	126,747	29.0	4,675	3.7	
販売費及び一般管理費	122,139	26.4	119,601	27.4	2,538	2.1	
営業利益	9,283	2.0	7,146	1.6	2,136	29.9	
営業外収益	3,479	0.8	3,465	0.8	14	0.4	
営業外費用	1,984	0.4	2,174	0.5	189	8.7	
経常利益	10,778	2.3	8,437	1.9	2,340	27.7	
特別利益	600	0.1	3,805	0.9	3,204	84.2	
特別損失	4,553	1.0	6,088	1.4	1,535	25.2	
税引前当期純利益	6,825	1.5	6,154	1.4	671	10.9	
法人税等	4,229	0.9	2,055	0.5	2,174	105.8	
法人税等調整額	702	0.2	1,339	0.3	2,041		
当期純利益	3,298	0.7	2,759	0.6	539	19.5	

売上高の状況

(単位:百万円)

製品分類	当期	構成比	前期	構成比	増減額	増減率
	平成15年3月期	%	平成14年3月期	%		
乳製品	97,462	21.1	91,704	21.0	5,757	6.3
練乳	4,513		4,171		342	8.2
粉乳	48,165		46,602		1,563	3.4
バター	12,076		11,690		386	3.3
チーズ	32,707		29,241		3,465	11.9
市乳	220,168	47.6	199,354	45.7	20,814	10.4
牛乳類	94,533		86,758		7,774	9.0
乳飲料等	44,977		44,676		300	0.7
はっ酵乳	65,092		53,807		11,285	21.0
プリン等	15,566		14,112		1,453	10.3
アイスクリーム	41,342	8.9	42,831	9.8	1,488	3.5
その他	103,401	22.4	102,608	23.5	792	0.8
合計	462,375	100.0	436,498	100.0	25,876	5.9

主な増減要因

乳製品

チーズが全般的に好調に推移した。
バターは需給状況がタイトな中、売上を増大した。

市乳

牛乳類・・・成分無調整牛乳の市場が拡大した。
乳飲料等・・・「カフェラッテ」など好調も、ほか縮小製品の減もあり微増。
はっ酵乳・・・「ピヒダス」等プレーンヨーグルトが健康志向を背景に市場が大きく伸長。
主力「アロエヨーグルト」前同比+20%超。
プリン等・・・焼きプリンがリニューアル後好調で、前期不振を改善。

アイスクリーム

「みぞれ」など氷菓類の7月の不振が大きく影響。

その他(飲料、ゼリー、クリーム類、飼料その他)

ゼリー類は不調であったが、流動食や宅配用専用商品の好調が寄与。

売上総利益

健康志向を背景にはっ酵乳の市場が拡大し、また、成分無調整牛乳などを中心に売上増大。
売上原価では、プロダクトミックスの変化や品質管理投資なども一部影響し、
原価率が悪化したものの、売上数量の増加が大きく寄与し増益。

販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円)

	当期		前期		増減額	増減率 %
	平成15年3月期	構成比 %	平成14年3月期	構成比 %		
主要な項目						
拡売費	63,140	51.7	63,272	52.9	131	0.2
広告宣伝費	5,815	4.7	5,446	4.6	368	6.8
運送費・保管料	18,187	14.9	15,068	12.6	3,118	20.7
従業員給料・賞与	16,392	13.4	16,884	14.1	491	2.9
福利厚生費	2,169	1.8	2,581	2.1	411	15.9
その他	16,434	13.5	16,348	13.7	353	0.5
合計	122,139	100.0	119,601	100.0	2,538	2.1

主な増減要因

市場拡大の中、拡売費を含め全体にわたりコスト削減に取り組んだ。

営業外収益および営業外費用の状況

(単位：百万円)

	当期	前期	増減額	増減率 %
	平成15年3月期	平成14年3月期		
営業外収益				
受取利息	78	65	12	19.6
受取配当金	1,948	1,844	104	5.7
雑収益	1,452	1,555	102	6.6
合計	3,479	3,465	14	0.4
営業外費用				
支払利息	1,400	1,567	167	10.7
投資有価証券評価損	163	351	188	53.6
雑損失	420	254	165	65.1
合計	1,984	2,174	189	8.7

主な増減要因

・金融収支では、市場環境要因もあり支払利息など若干下げた。

特別損益項目の内訳

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成15年3月期	平成14年3月期
特別利益		
固定資産売却益	131	1,447
退職給付会計基準変更時 差異	244	-
厚生年金基金解散処理差額金	186	2,352
投資有価証券売却益	4	4
その他の特別利益	34	-
合計	600	3,805
特別損失		
固定資産処分損	1,116	916
(財)ひかり協会負担金	1,520	1,497
投資有価証券等減損処理額	1,886	1,922
投資有価証券等売却損	24	3
関係会社整理損	5	598
退職給付会計基準変更時 差異費用処理額	-	1,149
合計	4,553	6,088

発生原因および説明

- ・固定資産売却益 ...前期 土地の売却 1,447百万円
- ・退職給付会計基準変更時差異
前期の厚生年金基金解散により、会計基準変更時差異が 6,381百万円から 1,221百万円（主に一時金制度分）となった。
- ・厚生年金基金解散処理差額金
前期の解散後、基金の準備金返還時に、確定計算の結果還付が生じたため。

設備投資額及び減価償却費

(単位：百万円)

	当期	前期
	平成15年3月期	平成14年3月期
設備投資額	14,469	14,490
減価償却費	11,675	11,709

当期の主な設備投資

- ・ 主力工場を中心とするヨーグルト、デザート、生クリーム、市乳等の製造設備、ユーティリティー設備等
- ・ 冷蔵庫管理温度適正化設備等
- ・ 土地(工場隣地)
- ・ 各支店でのショーケース等の販促機器等

要約貸借対照表

(単位：百万円)

	当期	前期	増減額	説 明		当期	前期	増減額	説 明
	平成15年 3月期	平成14年 3月期				平成15年 3月期	平成14年 3月期		
流動資産	101,461	105,943	4,481		流動負債	116,483	125,048	8,565	
現預金	2,448	5,667	3,218		仕入債務	55,350	55,235	115	
売上債権	57,597	60,389	2,791		短期借入金	12,409	23,517	11,108	
棚卸資産	22,842	24,319	1,477		社債		9,999	9,999	
その他	18,572	15,566	3,005		その他	48,723	36,296	12,426	
固定資産	153,516	151,661	1,855		固定負債	73,960	69,586	4,374	
有形固定資産	109,671	108,029	1,641		社債	50,000	40,000	10,000	
無形固定資産	199	211	11		長期借入金	12,345	16,470	4,125	
投資その他	43,646	43,421	225		その他	11,615	13,115	1,500	
資産計	254,977	257,604	2,626		負債計	190,443	194,635	4,191	
					資本計	64,534	62,969	1,564	
					負債・資本計	254,977	257,604	2,626	

主要項目の内容および増減要因

	増減額	主な要因
売上債権	2,791	平成14年2～3月の売上の増加の影響 前期末日金融機関休業日の影響
棚卸資産	1,477	在庫の圧縮による。
その他	3,005	短期貸付金として、当社グループ内金融(資金融通)の活用による増加。 (子会社関連会社への貸付)
有形固定資産	1,641	設備投資額 14,469百万円、減価償却費 11,675百万円、 減失等 1,153百万円
投資その他	225	投資有価証券減損により18億円減、匿名組合出資(12億円)ほか出資増17億円 貸倒引当金()4億円減少 (増加要因)
仕入債務	115	売上増に伴う増加。なお、前年は金融機関休業日による残高増加影響が 含まれているため、増分は少なく見えている。
借入金・社債	15,232	借入金返済により大幅に圧縮

(3) 次期の業績予想に関する補足情報

連結

平成16年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	平成16年3月期(計画)	平成15年3月期(実績)	前年比(%)
売上高	569,000	558,302	101.9
営業利益	14,600	13,796	105.8
経常利益	15,000	14,725	101.9
当期純利益	6,000	4,818	124.5

平成16年3月期 設備投資額および減価償却費予想

(単位：百万円)

	平成16年3月期(計画)	平成15年3月期(実績)	前年比(%)
設備投資額	20,300	20,511	99.0
減価償却費	17,100	16,332	104.7

設備投資の主な内容：

生産設備	17,000	百万円
販売設備	3,300	百万円
計	20,300	百万円

単体

平成16年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	平成16年3月期(計画)	平成15年3月期(実績)	前年比(%)
売上高	470,000	462,375	101.6
営業利益	10,000	9,283	107.7
経常利益	11,000	10,778	102.1
当期純利益	4,200	3,298	127.3

平成16年3月期 部門別売上高予想

(単位：百万円)

	平成16年3月期(計画)	平成15年3月期(実績)	前年比(%)
乳製品	99,600	97,462	102.2
市乳	224,000	220,168	101.7
アイスクリーム	42,000	41,342	101.6
その他	104,400	103,401	101.0
合計	470,000	462,375	101.6

平成16年3月期 設備投資額および減価償却費予想

(単位：百万円)

	平成16年3月期(計画)	平成15年3月期(実績)	前年比(%)
設備投資額	15,800	14,469	109.2
減価償却費	12,300	11,675	105.4

設備投資の主な内容：

生産設備	13,200	百万円
販売設備	2,600	百万円
計	15,800	百万円

業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。